

子どもの本や、子どもの読書活動の県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター(県立図書館内) TEL 055-255-1040 <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

## ★県外ニュース 祝 国際アンデルセン賞「作家賞」受賞！上橋菜穂子さん

『獣の奏者』や『精霊の守り人』などのファンタジー作品で知られる作家の上橋菜穂子さんが、国際アンデルセン賞・作家賞を受賞しました。

国際児童図書評議会 (IBBY) が主催するこの賞は「小さなノーベル賞」ともいわれ、子どもの本の分野において栄誉ある賞です。2年に一度推薦される作家と画家の全業績を対象に、児童文学への永続的な貢献に対して授与されます。日本人の受賞は1994年のまどみちおさん以来2人目。20年ぶりの快挙です。

NHKでのアニメ化、コミック化、海外での翻訳…など大ブレイク中の上橋さんの作品と経歴を紹介します。

### 主な作品

#### ①『獣の奏者』(講談社)

母の生き方に憧れ、獣ノ医術師をめざす少女エリンの波瀾万丈の人生を描いたファンタジー。

#### ②『守り人』シリーズ(偕成社、新潮社)

主人公は、男性顔負けの短槍の腕を持つ用心棒バルサ。物語は、精霊の卵を宿したが故に命を狙われる皇子チャグムを救う『精霊の守り人』※から始まる。

※野間児童文芸賞新人賞・産経児童出版文化賞ニッポン放送賞・路傍の石文学賞・蔵谷小波文芸賞(第25回)・米国バチエルダー賞を受賞



『獣の奏者 1 闘蛇編上』  
上橋菜穂子作 武本糸会絵  
講談社(講談社青い鳥文庫)

### 経歴 ~本と歴史が好き、実は文化人類学者~

1962年東京都生まれ。両親から本を読んで貰ったり、祖母から昔話を聞き育ち、読書好きに。特に『指輪物語』やサトクリフの歴史物語など英国児童文学が好き。将来の夢は作家、漫画家だった。

歴史が好きで「アレキサンダー大王の東方遠征を小説化したい」と大学は史学科へ。文化人類学と出会い大学院へ。1989年『精霊の木』でデビュー。研究も続け、文化人類学者・大学教授に。(専攻はオーストラリアの先住民アボリジニの研究。現在、川村学園女子大学特任教授)

※参考文献 『物語ること、生きること』上橋菜穂子著 瀧晴巳構成・文 講談社 2013

『守り人』のすべて』上橋菜穂子著 二木真希子絵 佐竹美保絵 偕成社編集部編 偕成社 2011

※参考 JBBY「上橋菜穂子さん、「国際アンデルセン賞」を受賞！」 <http://www.jbby.org/news/index.html?c=1>

講談社「獣の奏者」

<http://book-sp.kodansha.co.jp/topics/kemono/>

偕成社「守り人&旅人スペシャルページ」

<http://www.kaiseisha.co.jp/special/moribito/index.html>

## ★県内ニュース

富士河口湖生涯学習館

### 夏の夜のこわ〜いお話し

#### ●夏の夜のこわ〜いお話しとは？

1年に1回夜に開催するお話し。小学校3年生以上の子どもが対象で、安全のため保護者に送迎を依頼しています。怖い本を集め展示するコーナーも設置しています。

▼7月25日(金)のお話しに参加しました▼

#### \*プログラム\*

- 1 「夜中にやってきたお客」
- 2 「金の腕」
- 3 「指輪」
- 4 「子捨ての話」
- 5 「地獄行きのエレベーター」
- 6 紙芝居「小僧さんの地獄めぐり」
- 7 イギリスの昔話「白い家の老人」



怖い本を集めた展示

#### ●お話しの様子は？

午後7時30分、提灯を灯した職員を先導に小学校3年生から6年生の36人が真っ暗な図書館の中に入り、館内をぐるりと一周し、これまた真っ暗な会場へ。小さな小さなライトが灯され、朗読が始まりました。

それから約1時間、死体から金の腕を持ち去った夫の枕元に妻の幽霊が現れる話、針の山や釜ゆでなど地獄の様子がありありとわかる話など、怖くて不思議な話が次々に語られました。

子どもたちは最初ひそひそ声でしたが次第に静まり、「こわっ!」とつぶやきながら耳をすませてお話を聞き、ドキドキ感を味わっていました。一番怖かったのは約束を破った娘に危険が迫る最後のお話です。語り手が四方に座り顔をライトで照らしながら順番に語ります。ラストでは暗闇の中「サリイ、わしは十足近づいたぞ。」というセリフと共に、ドン!と床を叩いて足音が表現され「キャー!」と悲鳴があがりました。終了後は特別な貸出の時間。怖い本を借りて帰る子もいました。夏の夜を楽しむ怖くておもしろいおはなし会でした。

## ●● 気になるピック ●● 中学生・高校生とやってみよう！ 書評合戦(ビブリアバトル)

おすすめの1冊を持ち寄り、本の魅力を紹介し合い、参加者が「一番読みたくなった本」を選ぶ書評ゲーム「ビブリアバトル」。日本全国で人気を集め、秋には高校生初の全国大会も開催予定です。簡単なルールでできるこのゲーム。学校で、図書館でやってみませんか？

### 公式ルール

- 1 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

### ●● ビブリアバトルとは？ ●●

ビブリアバトルとは、2007年に谷口忠大氏（立命館大学准教授）が考案した本の紹介コミュニケーションゲームです。キャッチコピーは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」。全国47都道府県で開催され、大学以外に、小・中学校、高校、図書館、書店でも実践が広がっています。

### ●● 魅力 ●●

- ・小学生から大人まで誰でも遊べる、誰でも開催できる
- ・おもしろい本に出会える
- ・お互いのことを知ることができる

### ●● Q&A ●●

Q 持ち寄る本はどうやって選ぶ？先生が選んでもよい？

A 発表者自身が1冊選びます。小説、専門書、漫画、詩集、写真集など、本のジャンルは問いません。

Q 発表時間は短くてもよい？

A 5分を使い切るのがルール。3、4回経験すると、本のあらすじや要約だけでなく、自分の感じたことや、その本を選んだ理由なども加えて、楽しく語ることができます。

※小学生で5分持たせることが難しい場合、3分で行う「ミニ・ビブリアバトル」を認めています。

### ●● 全国高等学校ビブリアバトル2014に参加しよう！ ●●

2015年1月11日（日）、高校生初の全国大会が開催されます。全国大会への出場資格は、ブロック大会で上位の成績を修めること。ぜひ参加してみましょう！

#### ブロック大会（関東・甲信越大会）

開催日：11月23日（日）13:00～

会場：東京 千代田区 よみうり大手町ホール

発表者：先着60校（60人）（8月6日現在募集中。詳細はホームページでご確認ください）。

観戦者：11月7日（金）必着（応募者多数の場合は抽選）

21世紀活字文化プロジェクト 「全国高等学校ビブリアバトル2014」 <http://katsui.vomiuri.co.jp/biblio/>

上位の  
成績

全  
国  
大  
会

### ●● 県内のビブリアバトル開催予定 ●●

#### 知的書評合戦ビブリアバトル IN 塩山 ②

開催日：8月17日（日）17:30～

会場：甲州市 甲州市立塩山図書館

発表者：5名（8月1日締め切り）

観戦者：当日自由に参加可能

☆中学生、高校生の参加も可能

☆第3回は11月15日（土）17:30～、第4回は2015年を予定

#### やまなし読書活動促進事業サードステージ

開催日：2015年2月15日（日）13:30～

会場：甲府市 山梨県立図書館 イベントスペース

☆小学生、中学生、高校生の参加も可能

☆発表者、観戦者の詳細はホームページでご確認ください。

山梨県教育委員会社会教育課 「やまなし読書活動促進事業」  
<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>

※参考文献 『ビブリアバトル』 谷口忠大著 文藝春秋 2013

『ビブリアバトルを楽しもう』 粕谷亮美文 谷口忠大監修 しもつきみずほ絵 さ・え・ら書房 2014

※参考 知的書評合戦ビブリアバトル公式ウェブサイト <http://www.bibliobattle.jp/>